

5-1 高速交通・情報通信ネットワークの充実

施策目標

県民の快適な生活と経済活動を支える高速交通網の充実や情報通信技術の活用を進めます。

施策の基本方向

- ・北陸新幹線やリニア中央新幹線、高規格幹線道路等の整備を促進するとともに、これらの高速交通網を活かし、本県を中心とした本州中央部における大規模な交流圏域の形成を進めます。
- ・国内線の利用促進や国際チャーター便の誘致など信州まつもと空港の活性化に取り組みます。
- ・情報通信基盤の整備など地域での情報化を推進します。
- ・申請・届出等の行政手続の電子化やインターネットを活用した情報提供を進めるなど電子自治体を推進します。

施策の展開

- 1 新幹線の整備促進
- 2 高規格幹線道路、地域高規格道路の整備
- 3 信州まつもと空港の活性化
- 4 地域情報化の推進
- 5 電子自治体の推進

1 新幹線の整備促進 関連事業

※網掛けが今回点検対象事業

事業名	事業内容及び実績	決算額 (千円)	成果目標の達成状況(H25)		
			項目	目標	成果
北陸新幹線建設促進費	○北陸新幹線建設促進同盟会 ・大阪までのフル規格による早期全通を図るため、国等に対して要請活動を実施(5月、11月) ○新幹線延伸を活用した経済活性化協議会 ・延伸効果の早期発現をめざし、関係団体が連携して取り組むため、「北陸新幹線(長野経由)を活用した経済活性化会議」を開催(12月) ・延伸を契機として富山県と経済・観光連携を図るための交流会を開催(3月)	2,097	—	—	—
並行在来線対策事業費	○マイレール意識を醸成し、住民主体で利用促進に取り組む体制の構築 ・「しなの鉄道北しなの線運営協議会」設立(2月) ○しなの鉄道が行う開業に必要な初期設備整備等への支援 ・長野以北並行在来線開業準備事業費補助金 219,608千円	220,593	—	—	—
中央新幹線建設促進事業	・リニア中央新幹線の整備効果を地域振興に結びつけるための「長野県リニア活用基本構想」を策定した。 ・沿線都道府県で構成する「リニア中央新幹線建設促進期成同盟会」を通じて、国・JR東海への要望活動を行った。	3,125	—	—	—
北陸新幹線延伸を活かした観光振興事業費	・北陸最大の旅フェスタへの出展 ・首都圏でのPRのため北陸新幹線誘客推進員を東京都に設置 ・広域周遊ルートPRパンフの作成・配布 ・隣県(富山県、新潟県)との共同PRの実施 ・石川県、富山県において旅行商品造成商談会開催	7,066	長野県への旅行意向率(%)	60	93
北陸新幹線建設費	・(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構が建設する北陸新幹線の県内事業費の3分の1を負担	1,041,867	北陸新幹線事業進捗率(%)	92.4	92.4
北陸新幹線対策費	・北陸新幹線建設を促進するため、沿線の環境整備事業を実施している市町村に対し、事業費を補助	17,340	市町村道等改良事業(箇所)	1	—
			桜づつみ整備事業(箇所)	1	2

3 信州まつもと空港の活性化 関連事業

※網掛けが今回点検対象事業

事業名	事業内容及び実績	決算額 (千円)	成果目標の達成状況(H25)		
			項目	目標	成果
信州まつもと空港活性化事業	○定期便の利用拡大を図るため、利用促進策の実施 ・マスメディアやイベントを活用した県内・就航先でのPR ・旅行商品造成支援等、冬期間における需要の確保 ・バスの借上費用の助成など新規需要の開拓 ○チャーター便の運航を支援 ・国際チャーター8便(ロシア、カンボジア) ・国内チャーター36便(奄美、釧路等) ○空港アクセスの向上 ・エアポートシャトルバスの運行	19,200	信州まつもと 空港利用者数 (千人)	80	85
			国内定期便 利用率(%)	70	75.4
空港管理費	○空港施設・設備の適切な維持管理による安全・安心な空港運営 ・消防警備、除雪業務、緑地管理等の業務委託 ・保安検査機器の更新や保安検査員の配置によるハイジャックの防止 ○滑走路をはじめとする施設・設備の更新による空港機能の強化 ・滑走路等の再舗装工事 ・地上支援機材、旅客案内装置等の更新	349,762	信州まつもと 空港利用者数 (千人)	80	85
			就航便数(便)	1,480	1,457